

一般国道6号 勿来^{なこそ}バイパス
地質調査結果と今後の対応方針について

- 国土交通省磐城国道事務所及び常陸河川国道事務所では、現在、国道6号勿来バイパス（延長4.4km）の調査設計等を行っています。
- 平成28年度から地質調査を行ってきたところ、トンネルおよび山地部の掘削予定箇所の一部において、自然由来の重金属等を含むことが確認されました。
- これまで、学識者・専門家からいただいた助言を踏まえ、各種試験及び対応方針の検討を実施してきたところです。
- この重金属は自然由来であり、土壌ではなく岩石中に存在することから土壌汚染対策法は適用されませんが、今後とも、学識者・専門家の助言を頂きながら、周辺環境に及ぼす影響を調査し関係機関と連携し適切に対応してまいります。

■地質調査結果

調査箇所	基準値	溶出試験結果 (単位: mg/L)				
		カドミウム (0.01mg/L以下)	鉛 (0.01mg/L以下)	ヒ素 (0.01mg/L以下)	セレン (0.01mg/L以下)	フッ素 (0.8mg/L以下)
いわき市 ^{なこそまち} 勿来町		—	0.019	0.029	—	1.1-1.2
せきた ^{せきた} 関田地内		0.016	—	—	0.017	—
きたいぼら ^{きたいぼら} 北茨城市		—	0.026 ~0.081	—	—	—
せきもとなか ^{せきもとなか} 関本中地内		—	—	—	—	—

- ※1 今回の重金属は土壌汚染対策法は適用されませんが、参考として土壌汚染対策法の土壌溶出基準を準用しています。
- ※2 今回の試験値は岩石を粉砕し土の状態で行った短期溶出試験による値です。（現地で採取した岩石を土壌汚染対策法に定める測定方法に準拠し2mm以下に粉砕した試料で試験を実施）

■対応方針

- ①掘削により発生した岩石の対応方針
⇒ 道路事業用地内で盛土封じ込め
- ②盛土箇所のモニタリング調査
⇒ 重金属の溶出の有無を確認するため、周辺の排水路等のモニタリング調査を実施

発表記者会：いわき記者会、いわき記者クラブ、いわき市ふるさと発信課、福島建設工業新聞
茨城県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所 電話 0246-23-2211（代表）
副所長 蛸石^{しずくいし} 敏見^{としみ}（内線204）
工務課長 一戸^{いちのへ} 直人^{なおと}（内線411）

国土交通省 関東地方整備局 常陸河川国道事務所 電話 029-240-4061（代表）
副所長 高橋^{たかはし} 哲^{さとし}（内線204）
工務第二課長 一戸^{いちのへ} 佳充^{よしみつ}（内線411）

対応方針のイメージ

掘削により発生した岩石は、道路事業用地内に、路床盛土、保護盛土、遮水シートで封じ込めます。
また、重金属の溶出を確認するため、モニタリング調査を行います。

